



光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2021年12月号>

174号 2021.12.01 配信

この時期、歳を重ねるにつれ1年が早いと感じます。皆さまの2021年はいかがでしたでしょうか。環境が大きく影響した年は、良きにつけ悪しきにつけ、そのせいにしたくなりますが、やはり結局は自分だと思い直し、新たな気づきを得た方も多かったことと思います。創立100周年に制作された学園イメージソング「For Our Dreams」のPVを見ると、100年前に地にまかれた一粒の種が、みごとに成長し、葉を広げ、豊かな実りとなって次世代に受け継がれているのを感じます。前進し続けている学園に集う者として、新しい春を心待ちにし、前を向いて着実に進んでいきたいものです。皆様がお健やかに新年をお迎えされますよう、心よりお祈り申し上げます。

■同窓会だより

◆第29回 秋桜祭 (11月13日・14日)

オンラインと一部対面を並行したハイブリッド形式での開催となり、同窓会は、①YouTube配信 ②ライブ配信 ③学内展示の3パターンで参加しました。②のリアルライブ配信(11月13日(土)11:00~11:15)ではワーキングネットワーク委員(木村葉子さん、内藤諭子さん)と2020年卒業の若い同窓生(Xin Yee Teeさん、行方麻里子さん)が、学生時代の自分が実社会で活かされている様子を語り、安心して昭和女子大学らしい学生生活を送って欲しいとエールを送りました。



◆光葉同窓会生涯学習 第5回 筆ペン教室を開催

11月26日(金) 13:30~15:00 10号館5階光葉同窓会研修室
渡邊祐子さん(2014年 院生活機構卒)の指導で寅年の年賀状を作成しました。(14名参加)



◆光葉都奨学金「大学院社会人入学者奨学金」授与

11月26日(金) この春開設された1年制の大学院に入学された河村愛さんに同窓会室で授与いたしました。



■学園だより

◆昭和女子大学第5回シンポジウム「女性是世界を変える」

『アジア太平洋地域における女性リーダーの育成を考える／

Women's Leadership in Asia-Pacific Region』

【日 時】 2021年12月4日(土) 10:30 - 17:00

【会 場】 オンライン (Zoom) 【参加費】 無料

【申 込】 2021年12月2日(木)

プログラム詳細やお申し込みについては、以下の URL からご確認ください。

<https://sites.google.com/swu.ac.jp/wccw/>

【共 催】 昭和女子大学 (女性文化研究所、国際交流センター、現代ビジネス研究所)、
日本学生支援機構

【後 援】 文部科学省、外務省

■広げよう光の葉

安西 美津子 さん

(光葉同窓会 第5代会長)

1951年 国文科卒



「私の卒寿」

とうとう90年を生きてしまった。卒寿というのである。

日本旅行業女性の会のOG会から賀寿祝いをいただきました。…が、はたしてめでたいのか。自覚症状としては腕の力が落ちている。特にものをつかむ力が弱っている。重い大きいものはそれなりに意識するので失敗は少ないが、日々普通に出し入れしている皿・茶碗・急須などが指から漏れるように落ちるのである。台所にはカーペットを敷いてしまった。包丁は大丈夫。千六本・みじん切り・短冊切りはリズムカルに響かせている。ただフライパンは振れない。

歩くことはお使いに毎日行っている。納豆一つでも、きゅうり一袋でも出かける。大体5000歩から6000歩が平均である。

お付き合いは先輩・同級生とは顔を合わせては稀となってしまった。小学校・高等女学校・大学の同級生との級会は5年前から無くなった。今、大学の同級生と3か月に一回位ランチをしている。

「河豚囲む 二人となりし級会」と句会で披露したら、二人では囲むにならないと揶揄されたが、「天」にも抜いてもらった。

高齢者施設入居・車椅子・介護人付き…となると会うのも億劫になると、重なるようにコロナ禍の昨今、専ら手紙・葉書を送りまくっている。

会食・旅行など遊びに誘ってくれるのは後輩ばかりとなっている。お誘いいただけることの幸せを身に染みて感じた1年半であった。

日本に住むからには噴火・地震・津波・台風は覚悟の上のこと。風光明媚は地殻変動のもたらしたものと割り切ってもコロナ禍は人災半分の気がする。後手後手に回った政府・我慢のできない市民・孤独に耐えられない若者・子ども…目先に楽しいことばかりあり過ぎる時代が長すぎた結果なのか。喜怒哀楽・栄枯盛衰を噂ではなく現場と映像で見た私の九十年である。

【End】